

論文審査の結果の要旨

報告番号	甲 先 第 380 号	氏 名	鈴江 和好
審査委員	主査 小川 宏樹 副査 上月 康則 副査 中野 晋		
学位論文題目			
津波防災としての事前住居移転に関する研究			
審査結果の要旨			
<p>南海トラフ地震に伴い発生する津波による被害を軽減することは、大規模災害が目前に迫る中、喫緊の課題となっている。本論文は津波被害が発生する場所に住む人を震災前に少しでも減らすために住居を津波から安全な場所に事前移転させることを目指したものである。</p> <p>この論文では、はじめに震災前に住民の住居移転を行うために関係する制度やそれらの制度を活用する上での課題について整理している。その上で徳島県阿南市をモデル地域として取り上げ、津波浸水エリア内に住む住民を対象とした住居移転の意向調査を通して、住民が望む移転先の条件や移転を実現させるための支援策について分析している。さらに東日本大震災以降の人口や地価動態、徳島県による津波浸水想定に基づく「災害危険区域」の候補地の選定などを行うとともに、住居移転の意向調査の結果も考慮した「災害危険区域」からの移転先候補の選定手法について提案した。最後に住居移転希望に関するアンケート調査結果に二項ロジスティクス回帰モデルを適用して、想定津波浸水深と移転希望率の関係、移転費用補助額と移転希望率の関係などを定式化した。これらの関係式を用いて移転費用や住宅建築費用の補助など行政による支援策が住居移転希望率に与える影響について定量的に評価した。これにより、住民の住居移転を促進させるために効果的な経済的支援策について提示する方法について明らかにした。</p> <p>上記の通り、本論文は震災前に津波災害の危険エリアから住居移転を促進し、津波被害を軽減することを目的としたもので時宜を得た有用な研究である。アンケート調査結果に確率統計モデルを適用し、行政の支援策の効果を定量的に計量することに成功するなど、新規性、独創性のある研究を成し遂げている。これより本論文は博士（工学）の学位授与に値するものと判定する。</p>			